



FUKUOKA JO GAKUIN

134th

CONCERT



福岡女学院を深く愛し、在校生の成長を心より願う
卒業生の今石悦子様より寄贈されたスタインウェイのピアノが
創立134周年記念コンサートでも演奏されます。

福岡女学院高等学校 音楽科

福岡女学院は創設の頃から音楽教育に力を注いできました。1903（明治36）年当時、福岡市内には本校の一台しかピアノはありませんでした。戦時の空白時を過ぎると当時の徳永ヨシ院長の思いもあり、音楽のグループレッスンがはじめられ、生徒たちの技術も向上し、全国合唱コンクールに何度も優勝する水準の実力をつけてきました。1963(昭和38)年に福岡女学院高等学校音楽科が開設され、今年で56周年を迎えます。これまでに、国内外で活躍する多くの音楽家を輩出しており、時代の中で求められる感性の豊かさを提供している人材が卒業生に大勢いることは、福岡女学院の誇りであり、社会に対する大切な奉仕であると考えています。

スペシャルゲスト：吉井 美由紀 MIYUKI YOSHI

福岡女学院高等学校音楽科卒業。東京芸術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラス修了。1988～1996年、ミュンヘン国立音楽大学非常勤講師として、パウル・マイゼン教授のクラス等で伴奏助手を務め、1996～2002年、東京芸術大学に於いて同じくP・マイゼン教授の許で非常勤講師、さらに1998年より東京学芸大学非常勤講師。1987年マリア・カラス国際コンクール奨励賞受賞。シューベルト国際コンクール（於ドルトムント）ファイナリスト。演奏活動は多岐にわたり、歌曲伴奏者、室内楽奏者として、エルンスト・ヘフリガー氏、廣吉里歌子氏、平松英子氏、元ウィーン・フィル首席トランペット奏者ハンス・ガンシュ氏、チェロ奏者アダルベルト・スコッチ氏、ファゴット奏者小山莉絵氏等と共演、またバイエルン放送局、NHK-FMにてレコーディングを行う。ソロピアニストとしては、ドイツ各地でリサイタル開催、津田ホール、東京文化会館等でリサイタル開催のほか、バッハの平均率クラヴィーア曲集連続演奏会を国内外で展開。また、4人のピアニストによるARTIS Piano Ensemble (8手連弾)のメンバーとして、日本、ドイツの各都市で公演。杉山千賀子、堀江孝子、室井摩耶子、クラウス・シルデの諸氏に師事。

アクセス

《 JR+西鉄バス 》

- 鹿兒島本線 [南福岡駅]
→ 西鉄バス45番(約15分)

《 西鉄電車+西鉄バス 》

- 西鉄天神大牟田線 [井尻駅]
→ 西鉄バス45番(約12分)
- 西鉄天神大牟田線 [大橋駅]
→ 西鉄バス42番(約13分)

《 自動車 》

- 九州自動車道 太宰府I.C
→ 車で約25分
- 福岡都市高速道路 野多目ランプ
→ 車で約5分

※バスは女学院経由のものとは放送所前から徒歩となるものがあります。

